



観^{かん}天^{てん}望^{ぼう}気^きについて知ろう!

じめじめとした梅雨の時期が続きます。また、この時期は天気が目まぐるしく変わり、天気の変化と上手に付き合っていかなければなりません。このような時期には、昔から自然界の現象をもとに言われている天気を占うことわざ「観天望気」を参考に、天気の移ろいを楽しんでみませんか？



○猫が顔を洗っていたら雨が降る

猫は気圧の変化を感じ取ることができるので、耳の後ろまで顔を洗っていた場合は、それだけ毛が湿気を含んでいるからまもなく雨が降る、という説があります。

○ツバメが低く飛ぶと雨が降る

ツバメは、飛んでいる虫を捕食します。これらの虫は、低気圧が近づいて湿度が高くなると羽が重くなり、高く飛べなくなり、ツバメも低く飛ぶのだそうです。

○蜘蛛の巣に朝露がかかっている日は晴れ

前日の夜に晴れていると、地面の熱は空へ放射状に逃げていき、気温が下がります。すると空気中の水蒸気が冷やされ水に変わり、蜘蛛の巣に水滴がつきます。

○夕焼けがきれいに見えると次の日は晴れる

天気は西から変化するため、日が沈む西の空に厚い雲がないときは、夕焼けが見えるのでその翌日も晴れるという理由です。但し、赤すぎる夕日は雨だそうです。

○梅雨中の雷は晴れ近し

梅雨の発達した低気圧が停滞している場合に、太平洋からの高気圧が近づくと、低気圧と高気圧がぶつかり合って雷が発生することがあるそうです。

最後に熊本の観天望気です。

○阿蘇の煙が(北)西になびけば雨、南になびけば晴れ

阿蘇で南風や東風のために煙が北や西になびいているときは西の方から低気圧が接近しているときで、逆に南になびいているときは低気圧が通過した直後か、大陸から高気圧が張り出してきて北風が吹き始めた時なのでよい天気が続くそうです。

○金峰山のとっぺんに雲がかかると雨

山腹に沿って上昇気流が起き、それが山頂に来ると冷やされて雲を発生します。こうした雲が見られるときは、低気圧が近づいてきて、やがて雨が降り出すそうです。

他にもたくさんの観天望気があります。お子さんと一緒に観天望気を探して、自然に興味をもつと、「帯西ブルー」が子供たちの心の中に登場し、五感フル活動することでしょう!梅雨の時期にも楽しみを見つけましょう(^_^)